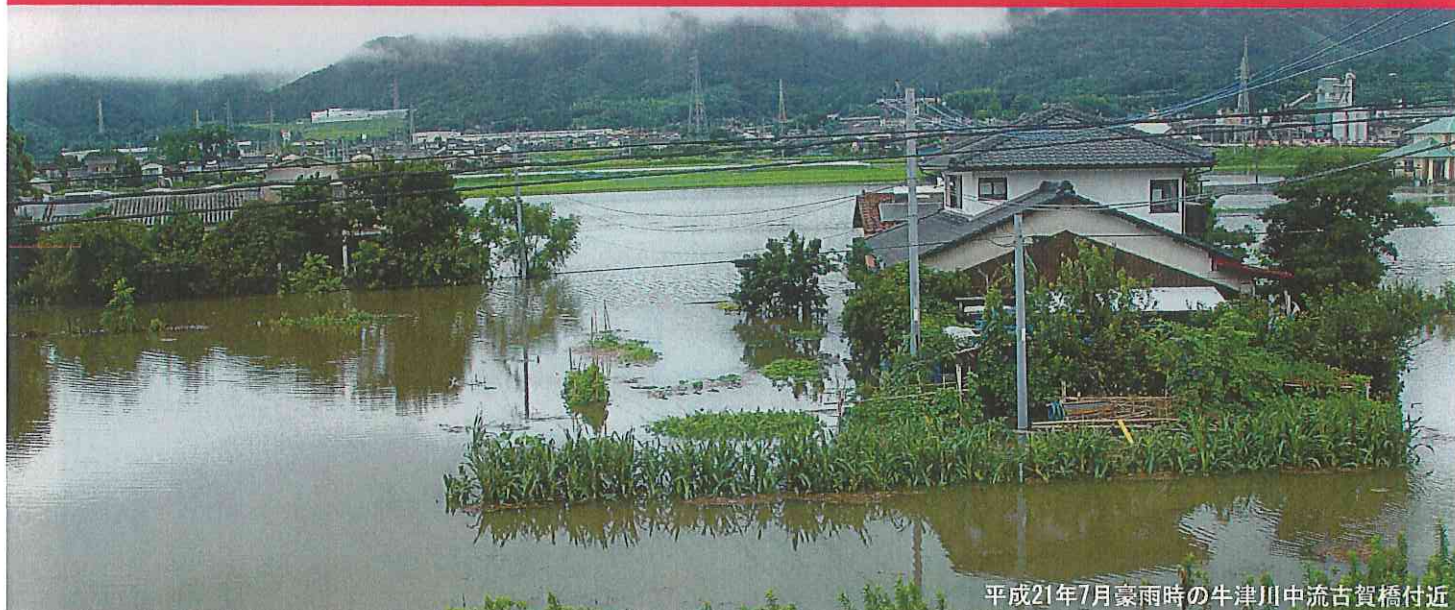


～平成21年7月豪雨から今後の避難のあり方を考える～

防災・減災フォーラム 2010 *IN* 小城

入場
無料



平成21年7月豪雨時の牛津川中流古賀橋付近

日 時

平成22年5月23日(日)

開場/13:30 開会/14:00 閉会/17:00

会 場

セリオ 2F 多目的ホール

小城市牛津町牛津大字柿樋瀬1062-1 TEL: 0952-66-5653



豪雨による地域住民の避難

基調報告

報告① H21.7.26出水と、住民の避難行動について
国土交通省武雄河川事務所長 田中 敬也

報告② 災害時の避難に関するワークショップの結果報告
多久市東多久町/代表住民 小城市牛津町/代表住民

報告③ 「佐賀平野大規模浸水危機管理計画」について
佐賀大学名誉教授(NPO法人有明海再生機構副理事長) 荒牧 軍治

パネル・ディスカッション

『今後の水害対応のあり方』

●パネラー

江里口 秀次

小城市長

中尾 隆尚

小城市消防団団長

本村 広太

牛津町天満町区長

田中 敬也

国土交通省 武雄河川事務所長

(敬称略・順不同)

●コメンテーター

荒牧 軍治

佐賀大学名誉教授

(NPO法人有明海再生機構副理事長)

●コーディネーター

三浦 哲彦

NPO法人技術交流フォーラム理事

主催/国土交通省武雄河川事務所 共催/NPO法人技術交流フォーラム 後援/佐賀県、小城市

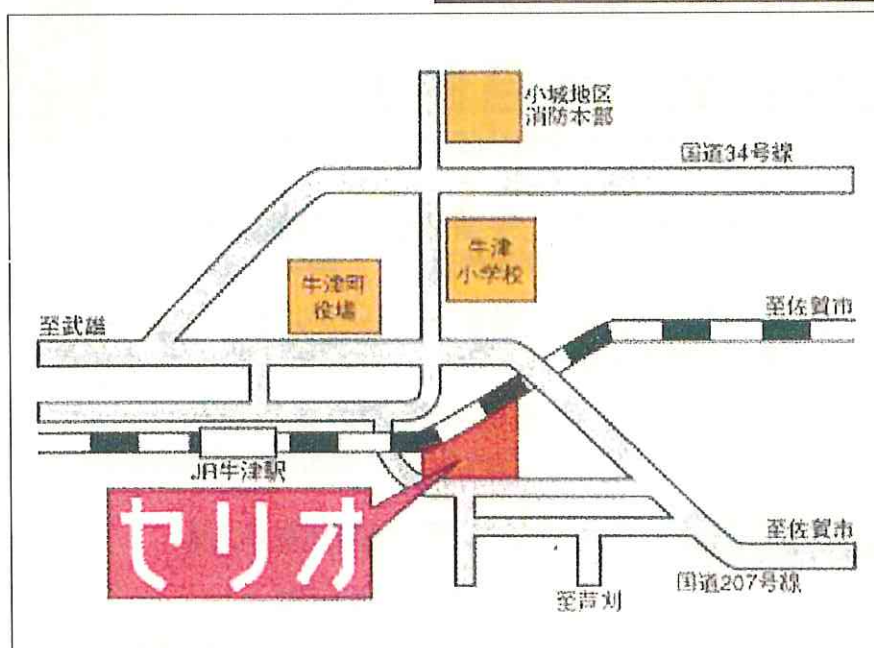
今後の避難のあり方とは？

平成21年7月24日から26日にかけて、北部九州を大雨が襲い、佐賀県内の各市町で避難勧告が発令されました。今後も、ゲリラ豪雨といわれる予測が困難な集中豪雨などの頻発が懸念されるため、今回災害時の住民の避難のあり方を考えるフォーラムを開催します。

このフォーラムは、平成21年7月豪雨を題材に、住民が自ら災害から身を守るために何を考え、行動すればよいかということを探り、次へつなげてゆくことを目的としています。



堤防から水があふれそうな牛津川 (H21.7)



お問い合わせ先

国土交通省武雄河川事務所「防災・減災フォーラム2010IN小城」係
(地域交流窓口内)

〒840-0023 佐賀県武雄市武雄町大字昭和745番地

TEL : (0954) 23-5151 Eメール : takeo@qsr.mlit.go.jp

災害に強いまちになろう！

防災まちづくり

～皆さんの取り組みを、武雄河川事務所がサポートします～

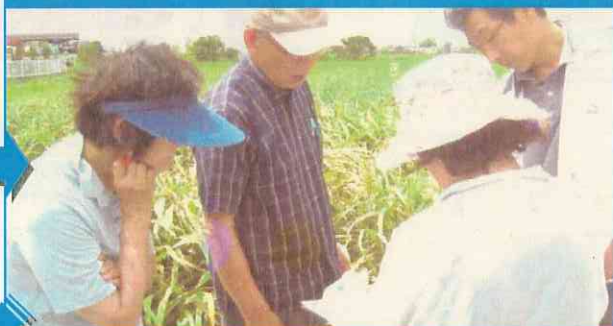
いざというときに役立つ、避難場所・避難ルートの入った
あなたの地域の「マイ防災マップ」を作ませんか？

●地域の防災力を見直すことから始めます

昔の水害について振り返り、
危険箇所・浸水しやすい場所を地図上に記す



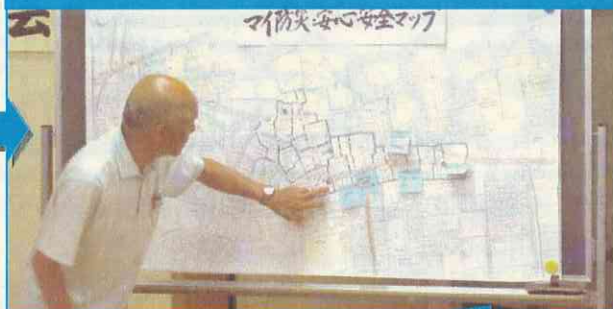
実際に住民の皆さんの足で地域を見て回る



防災上の課題・問題点を洗い出し、



安全・安心なまちを作るための対策を考える



●地域独自の防災情報をマップにまとめます



●もう少し具体的に聞きたい方、興味が湧いたという方は、ぜひご連絡を！

いつでもご相談や説明会に対応いたします

国土交通省 武雄河川事務所 調査課 地域交流窓口 電話0954-23-5163

知っておこう！

水位に応じた危険度レベル

水位に応じた危険度レベルを知り、危険から身を守る知識として活用下さい。

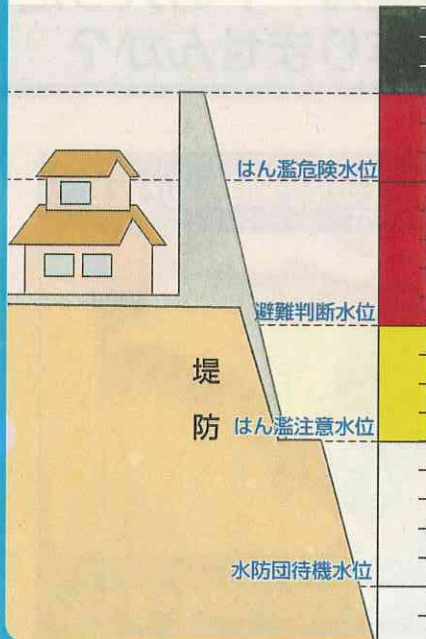


レベル(水位)

洪水予報発表

住民がとるべき行動

※洪水の恐れがある場合、国土交通省と気象庁が共同で洪水予報を発表します。



レベル5

はん濫の発生

はん濫発生情報発表

レベル4(危険)

はん濫危険水位

堤防の決壊など重大な災害発生
の恐れがある水位です。

はん濫危険情報発表

避難行動を直ちに完了したり、
避難していない住民は直ちに
避難行動に移りましょう。

レベル3(警戒)

避難判断水位

避難行動を行う目安となる
水位です。

はん濫警戒情報発表

避難を判断する段階です。
お住まいの市町村からの避難
に関する情報に注意して下さい。
もし、避難勧告などが出てい
なくても災害の危険を感じたら、
自主的に避難することが
大切です。

レベル2(注意)

はん濫注意水位

避難行動の準備を行う目安
となる水位です。

はん濫注意情報発表

はん濫に関する情報に注意が
必要です。
いつでも避難できるよう、身
支度や防災用品の準備をして、
近くの河川情報に注意してお
くことが重要です。

レベル1

水防団待機水位

水防団が水防活動を行うた
めに待機する水位です。

あなたを守る河川情報

六角川・松浦川のわかりやすい河川情報をリアルタイムで提供しています。

- ① 河川の水位
- ② 雨量
- ③ レーダ雨量
- ④ 洪水予報
- ⑤ 水防警報

武雄河川事務所ホームページからアクセス **防災インフォメーション** をクリック

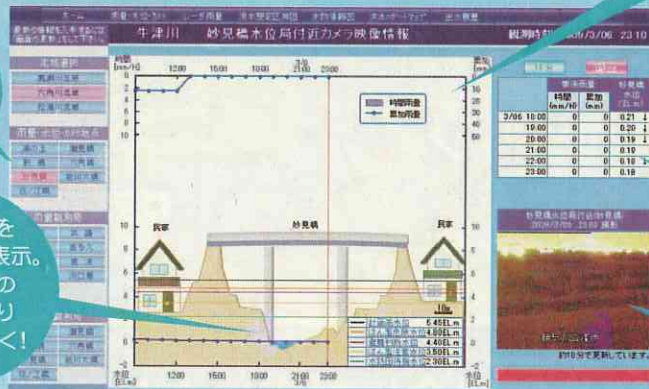
<http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/>

六角川 松浦川 の24時間リアルタイム情報

川の水位と
降雨状況を
リアルタイム
で表示！

5ヶ所に
設置された
カメラから
画像を提供！

川の水位を
イラストで表示。
橋や家との
比較でより
わかりやすく！



数値
データも
表示！

家に
いながら
川の様子を
チェック！

安否情報が 伝えにくい場合は…

大規模な災害発生時、被災地
への電話がかかりにくくなります。
その場合には『災害用伝言
ダイヤル』をご利用下さい。

NTT災害用伝言ダイヤル

171

伝言を録音するには

まずは**171**を押して
1を押します。
あとはご自分の
電話番号を**市外局番**
から入力して録音して
下さい。

伝言を再生するには

まずは**171**を押して、
2を押します。
あとは相手の
電話番号を**市外局番**
から入力して伝言を
お聞き下さい。

※伝言の録音、再生時には、発信される
お客様から、伝言の録音・再生する電
話番号までの通話料が必要です。
※他通信事業者の電話からは、一部ご利
用できない場合があります。

さかの川の防災情報 携帯電話情報サイト



<http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/mobile>



アザメ新聞

平成21年度 Vol. 35

皆様方には大変お世話になりました。来年度もよろしくお願いします。

アザメ新聞は相知町佐里下地区で行われているアザメの瀬自然再生の取り組みについてお伝えする新聞です。
 この取り組みは住民参加型のものですので、どなたでも検討会に参加できます。
 Vol.35では平成21年4月～22年3月の活動状況（第77回～第88回検討会）についてお伝えします。
 平成21年度も環境学習、田んぼの学校など例年どおり楽しい活動を続けています。

行啓記念清掃(雨で中止)・第77回アザメの瀬検討会・ネイチャー佐賀と勉強会(H21. 5. 17)



この日はあいにくの
雨のため
清掃が中止に...

ネイチャー佐賀の
みなさんと一緒に
アザメの会メンバーも
勉強会



相知小・田頭小4年生環境学習(H21. 6. 11)第78回アザメの瀬検討会



アザメの瀬ってどんなところ？



植物のことも調べたよ



何かいるかな？

米作り学習会(H21. 6. 19)



お米作りの質問がたくさん

アザメの瀬行ったことある？



田んぼの学校準備(H21. 6. 24)



草刈り、いつもご苦労さまです

田んぼの楽校(田植え)(H21. 6. 26)第80回アザメの瀬検討会



みんなが植えやすいように



まっすぐ植えられたかな



トンボ池での水泳も毎年恒例

アザメの瀬全面冠水(H21. 7. 26)

26日15時の状況



アザメの瀬

河畔林がなくなってしまうほどでした



みんなの田んぼは無事でひと安心

夏休み環境学習(H21. 8. 22)第82回アザメの瀬検討会

九州大学のおにいさんたちと一緒に



沼地、クリーク、トンボ池、いろんなところで調査して



さいごの発表もばっちり!

つつみ返し(H21. 11. 1)第84回アザメの瀬検討会



雨模様でも
みんな元気いっぱい



すぐに料理して



いただきます

田んぼの楽校(稲刈り)(H21. 11. 6)第85回アザメの瀬検討会

おじさんたちに負けるなっ



脱穀機登場!



稲刈り終了～
みんなそろってはいちース



田んぼの楽校(収穫祭)(H21. 12. 4)



まずは餅米を「おす」ところから



そ～れ、いちにっ いちにっ!



きなこもちがたくさん! 圧巻です

国土交通省 九州地方整備局
武雄河川事務所

Tel 0954-23-7933 Fax 0954-23-5193
<http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/>

自然豊かな、安心安全なまちをめざして…

私たち、KANNEは…

環境、防災に関する良好な生活環境を育み、継承を図るとともに、地域における環境活動をされていく団体のネットワークを構築、またより強固にすることにより個々の団体活動の幅を広げ、地域コミュニティの形成と地球温暖化防止に資することを目的に活動しています。この事業の具現化に向け、情報交換・交流を促進できる仕組みを用意し、皆さんの活動を支援するとともに、環境・防災の整備、保全に取り組みます。



KANNEとは「環境ネットワーク」の略、また「唐津かんねさん」のように機知に富んだ活動ができるようにという意味が込められています。

私たちといっしょに活動しませんか？

地球温暖化防止活動



～旧唐津銀行～

～打ち水キャンペーン～



～キャンドルナイト～



まちづくりの推進を図る活動



～里浜植樹～

防災を目的とした活動



～河川清掃・探検～

KANNEの活動

環境の保全を図る活動

地域の安心を目指した活動

この法人は、会の目的を達成するため、次の特定非営利活動に係わる事業を行う。

(定款第5条より抜粋)

- (1) 地域の自然環境に関する情報の収集、提供活動、講演会の企画、実施、知識や技術の向上に必要な研修事業
- (2) 地域の自然環境に関する整備、保全、支援活動に関する事業
- (3) まちの景観に関する情報の収集、提供活動、講演会の企画、実施、知識や技術の向上に必要な研修事業
- (4) まちの景観に関する整備保全、支援活動に関する事業
- (5) 生活環境に関する情報の収集、提供活動、講演会の企画、実施、知識や技術の向上に必要な研修事業
- (6) 生活環境に関する整備、保全、支援活動に関する事業
- (7) 防災を目的とした情報の収集、提供活動、講演会の企画、実施、知識や技術の向上に必要な研修事業
- (8) 防災を目的とした整備、保全、支援活動に関する事業
- (9) 災害時における情報の収集、提供活動に関する事業
- (10) 災害時における危険度判定、復旧作業、支援活動に関する事業
- (11) 耐震、免震、耐風設計に関する情報の収集、提供活動、講演会の企画、実施、知識や技術の向上に必要な研修事業
- (12) 地球温暖化防止に関する情報の収集、提供活動、講演会の企画、実施、知識や技術の向上に必要な研修事業
- (13) 地球温暖化防止への取り組み、推進、支援活動に関する事業
- (14) その他目的達成のために必要な事業

定例会 毎月第二金曜日

通 常 総 会 6 月

～入会申込書～

〈正会員・賛助会員（個人・法人）〉

唐津環境防災推進機構KANNEの趣旨に賛同し、入会申込致します。

平成 年 月 日

入会区分 ☑をつけて	□正会員 (個人)	□賛助会員 □法人 □個人
会費(年)	1,000円	10,000円/口 (□)

フリガナ 法人名	-----
フリガナ 氏名	-----
生年月日 T・S・H 年 月 日生	

住所	
----	--

TEL		FAX	
-----	--	-----	--

携帯TEL	
-------	--

E-メール	PC
-------	----

ケイタイ	
------	--

正会員(個人)の方で、何れかの団体に所属している場合、
以下も記入お願いします。

団体名	
代表者	
会員数	
主な活動	—
所属団体に 於ける役職	

※お書きいただいたデータは個人情報として管理し、申込書以外の事項には一切使用いたしません。

入会について...

裏面の申込書にご記入の上、下記事務
所まで会費とともにお待ちしております。



＜入会費及び年会費＞

入会費 なし
年会費 正会員(個人) 1,000円/年
賛助会員(個人及び法人) 1口 10,000円/年

＜お問合せ先＞

特定非営利活動法人
唐津環境防災推進機構 **KANNE**

理事長 岩 本 真 二

〒847-0013
佐賀県唐津市南城内2番6号Network Station まっろ内

TEL:0955-80-7060

FAX:0955-80-7061

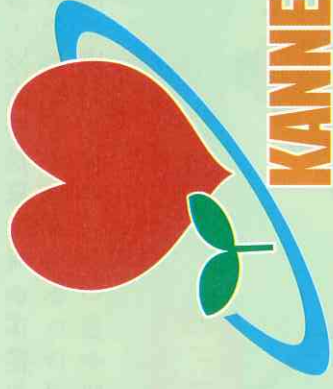
E-mail:kanne@psc.bbq.jp
http://www.karatsucity.com/~kanne/

＜受付時間＞

平日 9:00～18:00

～ かんね ～
KANNE

特定非営利活動法人
唐津環境防災推進機構



「白砂青松」の美しい虹の松原へ

虹の松原 再生・保全活動 参加者募集



松原の土の栄養分が
多くなり広葉樹や雑草が
生い茂ってきました。



昔のように
広葉樹のない
松だけの林を目指します。



継続的に活動できる方なら
一人でもグループでも OK。



活動内容は、
松葉かき、除草作業、
芽かき、清掃などです。



割り当てられたところで、
定期的に活動します。

問い合わせ先

虹の松原再生保全活動推進団体
NPO 法人 唐津環境防災推進機構 KANNE 電話 0955-80-7060
〒847-0013 唐津市南城内 2-6 NetworkStation まつる内



虹の松原再生・保全活動とは

保存・再生活動とは、どんな目的ですか。

「虹の松原」を、みんなの手で「白砂青松の美しい虹の松原に育て守っていこう」という目的です。

どんな活動をすればいいのですか。

虹の松原保護対策協議会に登録して頂き、割り当てられた活動区域内で、1年4回程度（季節ごとに1回を目安）、松葉かき、除草作業（草刈り機をしません）、芽かき（広葉樹の芽を摘むこと）、清掃が、再生・保全活動の主な内容です。

活動区域の広さは、どのくらいですか。

大人一人で1時間あたり畳一枚分の広さを目安として、自分に合わせて選べます。

だれでも登録できるのですか。

町内会、こどもクラブ、ボランティアグループ、職場の仲間、家族、個人などで、どなたでも登録することができます。

どうすれば、登録できますか。

まず、活動の窓口（下記のところ）にご相談ください。

活動内容と活動場所の確認を行ってから、「参加申込書」などを提出して、活動を開始します。

用意するものは、何ですか。

活動に必要な道具（松葉ほうき等）は、準備します。



活動の窓口

虹の松原再生保全活動推進団体

NPO 法人 唐津環境防災推進機構 KANNE 電話 0955-80-7060

〒847-0013 唐津市南城内 2-6 NetworkStation まつる内



唐津市 うみ・やま・かわ 環境調和のまちづくり事業



大募集

応募説明会

5月7日(金)

時間: 19:00~20:00

場所: 唐津市民会館第2会議室

応募締切

5月18日(火)

17時必着

本事業は、唐津市の恵まれた自然環境を守り、次世代に引き継ぐ事を目的とします。

<応募先及びお問合せ先>

特定非営利活動法人唐津環境防災推進機構KANNE

〒847-0013 唐津市南城内2-6

TEL 0955-80-7060 FAX 0955-80-7061

E-mail: kanne@psc.bbq.jp

H.P. <http://www.karatsucity.com/~kanne/>

または

唐津市市民環境部環境対策課

〒847-8511 唐津市西城内1-1

TEL 0955-72-9124

E-mail: kankyou@city.karatsu.lg.jp

※裏面もご覧ください

<唐津市うみ・やま・かわ環境調和のまちづくり事業とは>

唐津市の景観に恵まれた自然環境を守り、次の世代に引き継ぐことを目的とし、自主的、主体的及び継続的に取り組み、市民が参加できる自然環境と調和した事業を募集します。

なお、本事業は唐津市の事業であり、募集並びに審査会などの支援業務をNPO法人唐津環境防災推進機構KANNEが受託しております。

～募集する事業～

- ① 自然環境の保全に資する事業
- ② 地球温暖化防止に資する事業
- ③ 循環型社会の形成に資する事業
- ④ 環境教育等の推進事業
- ⑤ 国際的な環境保全事業

<応募期間>

2010年4月15日(木)～5月18日(火)

※ 17時必着

<公開審査会>

日時:2010年5月26日(水)18:30～21:00

場所:唐津市民会館

<補助額>

活動計画が5万円以上の事業で、補助対象事業の実施に要する経費の2分の1に相当する額を補助します。

※但し、5万円以上15万円未満の事業で2年以上継続する事業に関しては、1年目に限り10分の8に相当する金額を補助します。

<応募要項の配布>

NPO法人KANNE事務局にて配布しております。

メールにてお問い合わせいただければ、データ(word形式)にてお送りいたします。ホームページからもダウンロードできます。

<応募方法>

所定の応募用紙に必要事項をご記入のうえ、表の応募先まで郵送または、ご持参にてご提出ください。

1. 補助について

(1) 補助の対象となる組織

唐津市内で活動、または活動の拠点が市内であるNPO法人、ボランティア団体、市民団体又は企業などの5人以上で構成される組織。

(2) 補助の対象とならない活動

- ① 施設又は設備の設置を主たる目的とした事業
- ② 物品販売等の営利を目的とした事業
- ③ 事業の内容が特定の者の利益のために行う事業
- ④ 政治又は宗教を支持する事業
- ⑤ 地域住民の親睦会等のイベント
- ⑥ 国又はその他の地方公共団体の補助を受ける事業
- ⑦ 財団その他の団体の補助を受ける事業
- ⑧ 委託を受けて行う事業
- ⑨ 補助対象事業の実施に要する経費が5万円未満の事業

(3) 補助の対象となる経費

- ① 交通費
- ② 通信運搬費
- ③ 諸謝金
- ④ 借上げ料
- ⑤ 消耗品費
- ⑥ 印刷製本費
- ⑦ 保険料
- ⑧ 食糧費
- ⑨ 備品購入費
- ⑩ 報償費
- ⑪ 人件費

2. 選考について

- (1) 選考方法:書類審査及び公開審査(5月26日予定)
- (2) 審査委員会:9名の審査委員をもって構成し、審査いたします。
- (3) 審査基準:創造性、自主性、継続性、実現性、公益性、費用の妥当性
- (4) 選考結果:選考結果は、2010年5月31日までにお知らせいたします。

※ 採否の理由など、選考に関するお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

3. 事業完了後について

- ・ 活動完了報告書を事業終了後30日以内に提出していただきます(3月の事業は3月末日まで)。
- ・ 事業完了後、成果発表会にて事業報告をお願いします(2011年3月26日予定)。

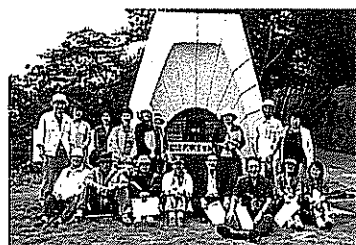
※詳しくは応募要項をお取り寄せご覧ください。

平成20年(2008)

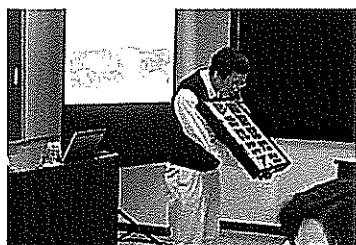
1月 第1回講義	「レイチェル・カーソンに学ぶ ― 地球環境はどうなる? ―」	嵯宏八郎
2月 第2回特別企画	アル・ゴア「不都合な真実」上映会	唐津市近代図書館3Fビデオルーム
3月 第3回講義	「チェンバレンとハーン、明治日本を見た二人の英国人」	太田雄三/マッギル大学教授
4月 第4回講義	「コミュニケーションとはなにか」	大嶋仁/福岡大学教授
5月 第5回講義	「素数ゼミの謎」	吉村仁/静岡大学創造科学技術大学院教授
6月 第6回講義	「最後のロシア皇帝とその家族…遺骨の真実を探る…」	長井辰男/北里大学名誉教授・長井医科学研究所所長
7月 第7回講義	「庄屋文書にみる唐津城築城年代の謎」	山田洋/松浦史談会
9月 第8回講義	「感性をみがく…コラムを書くということ」	富吉賢太郎/佐賀新聞社論説委員長
10月 第9回講義	「憲法第9条とこの国のかたち」	佐藤治子/ケンブリッジ大学助教・国際政治
11月 第10回講義	「動物ドキュメンタリー ― 語りの比較文学 ―」	マリア・ヘス・デ・プラダ/文学博士
12月 第11回特別講義	唐津商業高等学校3学年出前教室	
	「科学する目と心」	嵯宏八郎・木原厚二
	「遺跡の語る唐津の原始・古代」	山田洋/松浦史談会

平成21年(2009)

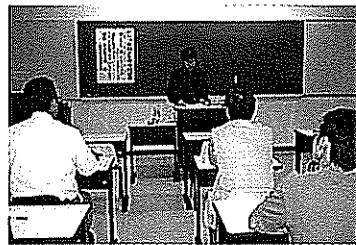
1月 第1回特別スペシャル	「虫の目になって見てみよう!」	栗林憲 ^{としか} /昆虫写真家
2月 第2回講義	「幕末佐賀藩の科学技術」	長野通 ^{つとむ} /佐賀大学名誉教授
第3回特別講義	唐津商業高等学校3学年出前教室	
	「日本文学と歴史 ― 沖縄と奄美の島嶼をとらえて」	大嶋仁/福岡大学教授
	「唐津藩の民間塾と宗田運平」	山田洋/松浦史談会
3月 第4回講義	「古式捕鯨時代の西海捕鯨の概要」	中園成生 ^{なりゆき} /生月町博物館・島の館学芸員
5月 第5回講義	「平均律を超えて ― 近代音楽におけるグローバル・スタンダード ―」	藤枝守/作曲家・九州大学大学院芸術工学研究院教授
6月 第6回講義	「庄屋文書にみる唐津藩のキリシタン政策」	山田洋/松浦史談会
7月 第7回講義	「系統樹で生き物をまとめる ― 生物分類学入門 ―」	吉澤和徳/北海道大学大学院農学研究院助教
9月 第8回講義	「焼酎の魅力と健康」	小川喜八郎/宮崎大学名誉教授
10月 第9回講義	「歴史・伝説・歌 ― 松浦佐用姫をめぐる ―」	大嶋仁/福岡大学教授
11月 第10回講義	「背振山地における風の民俗」	田中明/佐賀大学教授



百済武寧王ゆかりの加島島探訪
2007.6.16



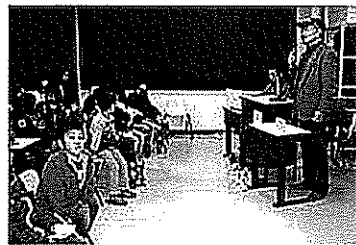
吉村仁先生「素数ゼミの謎」2008.5.12



富吉賢太郎先生「感性をみがく」
2008.9.22



栗林憲先生「虫の目になって見てみよう!」2009.1.11



からつ塾
運営委員

代表・嵯宏八郎(河村美術館理事)、篠森雅雄(九州大学教授)、井上満(肥前杜氏)、岩本真二(唐津土産専務)、大嶋仁(福岡大学教授)、川波偉津子(保育士)、事務局長・木原厚二(唐津ビジネスカレッジ校長)、古賀芳典(九電産業)、小原勉(玄海町教育長)、坂口政江(唐津市)、松金恒雄(佐賀第一ライオンズクラブ幹事)、森川律子(ピアニスト)、山田洋(松浦史談会)、吉田幸(ボニースクール主宰)

お問合せ からつ塾事務局

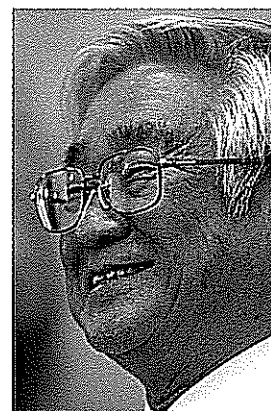
〒847-0021 佐賀県唐津市松南町94-1 唐津ビジネスカレッジ内
TEL (0955)77-1771 / FAX (0955)77-1774
http://www.core.ac.jp/kaca/juku/ E-mail: kihara@core.ac.jp

からつ塾特別企画

2008年ノーベル物理学賞 益川敏英氏講演会

科学とロマン

平成22年2月21日(日)
唐津市民会館 大ホール



ますかわ としひで
【益川 敏英 氏 プロフィール】

1940年 名古屋市生まれ。名古屋大学理学部卒業、同大学院理学研究科修了、理学博士。
現在、京都大学名誉教授、京都産業大学教授、名古屋大学特別招聘教授。
1997年第17期日本学術会議会員。九条科学者の会呼びかけ人。
1979年第25回仁科記念賞、1985年アメリカ物理学会第1回J.J.S.賞、日本学士院賞
1995年朝日賞、2001年文化功労者
2007年欧州物理学会高エネルギー・素粒子物理学賞
2008年ノーベル物理学賞。文化勲章。

主な著書

「科学にときめく」 益川敏英著/かもがわ出版
「15歳の寺子屋『フラフラのすすめ』」益川敏英著/講談社
「教育を子どもたちのために」 益川敏英ほか著/岩波書店
「現代の物質観とアインシュタインの夢」 益川敏英著/岩波書店
「僕がノーベル賞をとった本当の理由 ― 子ども時代のすごしかた」 益川敏英著/フォーラムA
「益川さん、むじな沢で物理を語り合う ― 素粒子と対称性」
益川敏英著、東京物理サークル著/日本評論社

《関連著書》

「小林・益川理論の証明」 立花隆著/朝日新聞出版
「素粒子の世界を拓く ― 湯川・朝永から南部・小林・益川へ」
湯川・朝永生誕百年企画展委員会著/京都大学学術出版会
「益川敏英と科学の仲間」 『日本の科学者』編集委員会著/本の泉社

13:30	開 会	
	実行委員長挨拶	
	講 演	『科学とロマン』 益川 敏英氏
	質疑応答(高校生)	
15:45	閉 会	

■主 催 益川敏英氏講演会実行委員会

■後 援 唐津市/唐津市教育委員会/玄海町/玄海町教育委員会/唐津商工会議所
唐津青年会議所/ひびく放送/唐津ビジネスカレッジ

ごあいさつ

2008年、4人の日本人がノーベル賞に輝いたことは、まだ皆さまのご記憶に新しいことと思います。そのなかのおひとり、益川敏英先生を唐津にお迎えすることができました。先生は素粒子論の研究によって現代物理学の最先端を担ってこられ、「われわれの宇宙がなぜ存在するにいたったか」という、人類にとって最も根源的な謎の解明に一步近づいたという功績によって、ノーベル物理学賞を受賞されました。

今回"科学とロマン"というテーマでご講演いただきますが、科学の世界の奥深さをぜひ若い世代に知ってもらいたいという先生の強いご希望もあり、とくに本日は多くの高校生の皆さんの参加を得ております。どうか現代最高の知性に触れるまたとないひとときを存分にご堪能ください。

この講演会は、「からつ塾」の運営委員に加え、各方面からの参加をいただいて立ち上げた実行委員会によって企画いたしました。このほかご協力いただいた多くの市民の皆さまに、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

"からつ塾"は、「今日をよりよく生き、明日へ向かって深く思いをめぐらすために、自らの力で考え、世の中を見つめ直そう」をモットーに、活動を始めて今年7年目を迎えましたが、プログラムに掲載しましたこれまでの活動と今後の予定をご覧のうえ、どなたさまも自由に参加くださることを願っております。

益川敏英氏講演会実行委員会

実行委員
会長・嵯宏八郎(からつ塾代表)／石崎俊治(唐津市議会)／稲葉維雄(九州大学)／井上満(杜氏)／岩本真二(唐津土建)／牛草英蔵(唐津市)／大嶋仁(福岡大学)／川波俤津子(保育士)／古賀芳典(九電産業)／吉富春海(国際ソロプチミスト唐津)／小柳勉(玄海町)／高岡博光(近代図書館友の会)／田中明(佐賀大学)／松金恒雄(佐賀第一ライオンズクラブ)／峰松藤一郎(唐津商業高校)／森川律子(ピアニスト)／矢沢みゆき(済生会病院)／山田洋(松浦史談会)／吉田学(ボニースクール)／事務局長・木原厚二(唐津ビジネスカレッジ)／事務局・吉永真由美(唐津ビジネスカレッジ)

からつ塾 今年《平成22年(2010)》講義予定

第1回講義	1月25日(月)19:00	「松浦川の歴史」	山田洋／松浦史談会
第2回講演会	2月21日(日)13:30	「科学とロマン」	益川敏英／ノーベル物理学賞受賞者
第3回講義	3月13日(土)14:00	「眠りの科学」	井上昌次郎／東京医科大学科学名誉教授、世界睡眠学会連合理事
第4回講義	4月19日(月)19:00	「折紙－フリーハンドの幾何学－」	川村みゆき／折紙作家
第5回講義	5月24日(月)19:00	「生命とはなにか(仮)」	宗川吉江／京都工芸繊維大学名誉教授
第6回講義	6月27日(日)(調整中)	「回想の松本清張」(編集者として松本清張を30年間担当)藤井康榮／松本清張記念館館長	
第7回講義	7月26日(月)19:00	(人と自然との関係性に関する研究)	安室知／神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科教授
第8回講義	8月9日(月)19:00	(江戸文学 写楽などの研究)	中野三敏／九州大学名誉教授
第9回講義	9月6日(月)19:00	(ゴカイ類の研究)	佐藤正典／鹿児島大学理学部地球環境科学科准教授
第10回講義	10月(日に調整中)19:00	(日本比較文学研究)	大嶋仁／福岡大学教授
第11回講義	11月(日に調整中)19:00	「サイボーグ(仮)」(生命倫理の研究)	松田純／静岡大学教授

※開催場所 第2回講演会:唐津市民会館、第6回講義:唐津市近代図書館、左記以外講義:唐津ビジネスカレッジ

からつ塾 これまでの活動

平成15年(2003)

12月	からつ塾設立	発起人	嵯宏八郎／河村美術館理事	稲葉維雄／九州大学教授	岩本真二／唐津土建専務
			大嶋仁／福岡大学教授	木原厚二／唐津ビジネスカレッジ校長	
			小柳勉／NPO法人文化フォーラム・サライ理事	山田洋／松浦史談会	
			吉田学／ボニースクール主宰		計8人

平成16年(2004)

1月	第1回講義	「唐津藩の民間塾と宗田運平」	山田洋／松浦史談会
3月	第2回講義	「インターネットの活用」	中村隆／唐津ケーブルテレビジョン社長
4月	第3回講義	「今日からみた福沢諭吉」	大嶋仁／福岡大学教授
	第4回講義	課外授業「民間塾ゆかりの地を訪ねて」	山田洋／松浦史談会
6月	第5回講義	「世界の中の福沢諭吉、啓蒙とその反動」	大嶋仁／福岡大学教授
7月	第6回講義	「宇宙・ゆらぎ・フラクタル ー宇宙の創生から人間までー」	佐治晴夫／鈴鹿国際大学・短大学長
		同日特別講義(母校唐津東高校)「最新宇宙論が教えてくれること」	
9月	第7回講義	「近代思想の問題点あるいは近代化という世界現象の問題点」	大嶋仁／福岡大学教授
10月	第8回講義	「旧韓国における在留邦人の教育」	稲葉維雄／九州大学大学院教授
11月	第9回講義	課外授業「虹／松原一揆ゆかりの地を訪ねて」	山田洋／松浦史談会
12月	第10回講義	「日本的伝統の価値」	大嶋仁／福岡大学教授

平成17年(2005)

1月	第1回講義	「19世紀イギリスにおける労働者の自主学習について」	松塚俊三／福岡大学人文学部教授
3月	第2回講義	「情報とは何か…マスコミの危うさ」	富吉賢太郎／佐賀新聞社論説委員長
4月	第3回講義	「生き物への配慮」	林良博／東京大学教授
5月	第4回講義	「記号論へのおさそいーその1・アイフル編ー」	大嶋仁／福岡大学教授
7月	第5回講義	「医療と生命の倫理、ヨーロッパの場合と日本の場合」	松田純／静岡大学教授
8月	第6回講義	「記号論へのおさそいーその2・ゴジラから鉄腕アトムまでー」	大嶋仁／福岡大学教授
9月	第7回講義	「記号論へのおさそいーその3・日本思想史の概略ー」	大嶋仁／福岡大学教授
10月	第8回講義	「西欧の環境政策と日本の場合」	今泉みね子／環境ジャーナリスト
11月	第9回講義	「日本文学の誕生ー東アジア漢字文明のなかでー」	マリア・ヘスス・デ・ブラダ／文学博士

平成18年(2006)

1月	第1回講義	「唐津周辺の陸水の水質変動」	田中明／佐賀大学教授
3月	第2回講義	「この国のゆくへ…今、何かが問われている」	富吉賢太郎／佐賀新聞社論説委員長
4月	第3回講義	「イメージの中のマイノリティーアイヌ、沖縄、在日ー」	李建志／県立広島大学助教授、朝鮮文学担当
6月	第4回講義	「21世紀の日本の役割ー思想史の立場からー」	大嶋仁／福岡大学教授
7月	第5回講義	「アンチエイジングとサイボーグー体強化技術をめぐる倫理ー」	松田純／静岡大学教授
9月	第6回講義	「庄屋文書にみる唐津藩領民の罪と罰」	山田洋／松浦史談会
10月	第7回講義	「牧水と現代」	伊藤一彦／宮崎県立看護大学教授・歌人
11月	第8回講義	「個人と文化のアイデンティティー」	マリア・ヘスス・デ・ブラダ／文学博士
12月	第9回講義	「藻の心、人の心」	濱田仁／富山大学

平成19年(2007)

1月	第1回講義	「日本文学と歴史ーあの島唄がどうして歌謡曲に?ー」	大嶋仁／福岡大学教授
3月	第2回講義	「庄屋文書にみる往来手形と庶民の旅」	山田洋／松浦史談会
4月	第3回講義	「こどもたちに伝えたいこと」	林良博／東京大学教授
5月	第4回講義	「言葉と心のリレー」	小島ゆかり／歌人・コスモス短歌会選者
6月	第5回講義	課外授業「百済武寧王ゆかりの加唐島探訪」	熊本典宏／武寧王交流唐津市実行委員会局長・山田洋／松浦史談会
7月	第6回講義	「ミミズという生きもの」	中村芳子／理学博士・中央大学名誉教授
8月	第7回講義	「白鳥伝説と仏陀」	本田清／写真家・涙骨賞優秀賞受賞
9月	第8回講義	「唐津と韓国」	上垣外憲一／帝塚山学院大学教授
10月	第9回講義	「民間動物教育の道ー教師の試みー」	吉田学／ボニースクール主宰
11月	第10回講義	「死の自己決定」	松田純／静岡大学教授

からつ塾 宗川吉汪教室

>>からつ塾TOPページはこちら

「生命の起源とヒトの進化」

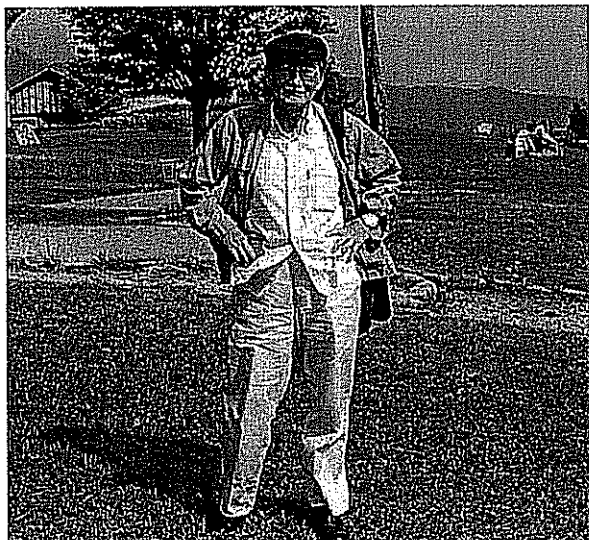
講師 宗川吉汪(そうかわ・よしひろ)氏(生命生物人間研究事務所主宰、
京都工芸繊維大学名誉教授)

開催日時 平成22年5月24日(月) 19時から21時(1時間30分講義、30分質疑応答)

開催場所 唐津ビジネスカレッジ(JR筑肥線唐津駅北口徒歩1分)

参加費 大人2,000円 学生(大学生以下)1,000円 ※参加自由。参加当日直接お申し込みください

お問合せ 唐津ビジネスカレッジ内からつ塾事務局 木原 TEL(0955)77-1771



宗川吉汪(そうかわ・よしひろ)プロフィール
1939年生まれ。1958年に東京大学教養学部理科II類に入学。1962年に理学部生物化学科卒業。その後、東京大学大学院博士課程、東京大学医科学研究所助手、京都大学ウイルス研究所助教授、京都工芸繊維大学教授を経て、現在、生命生物人間研究事務所主宰。大学では、細胞・ウイルスの増殖調節の分子生物学的研究をしていました。現在は、生物進化、生命論、などを勉強しています。

主な著書:

『誕生・性・遺伝子』新日本出版社

『生命のしくみ 11話』新日本出版社

ホートン『生化学』(翻訳)東京化学同人

『生命の展開』三省堂、など

講義内容:

世論調査で有名なギャラップ社が、人類の起源についてのアメリカ人の意識を調査しました。

(設問)人類の起源と発展について、あなたはどのように考えていますか。

(答え1)人類は何百万年のあいだに原始的な生物から発展してきた。この過程は神によって導かれた。

(答え2)人類は何百万年のあいだに原始的な生物から発展してきた。この過程に神はかかわらなかった。

(答え3)神は人類を、現在と非常によく似た姿で、ここ1万年ばかりのあいだに一挙に創造した。

あなたならどのように答えますか。調査結果では、(答え1)が36%、(答え2)が14%、(答え3)が44%で、(答え1)と(答え3)を合わせると80%になり、8割のアメリカ人が人類は神によってつくられたと信じていることがわかりました。

ところで、ラマルクとダーウィンは進化論の創始者として有名ですが、次の説明はそれぞれどちらの人が言ったのでしょうか。また、あなたはどちらの説明が正しいと思いますか。

(説明1)環境変化によって足を歩くために使うように強いられた個体が、直立の姿勢を取るよう努力し、世代を重ねてこの習性を持続した場合、これらの個体の足が段々と直立の姿勢を保つのに適当した格好をとるようになった。

(説明2)他の動物と同様、現在の人間にもさまざまな個体差やわずかな変異が多くみられるので、人間の初期の祖先もそうであったに違いない。このことは必然的に存続をめぐる争いを引き起こし、自然淘汰が働くことになっただろう。

本講義ではこれらの問題を手掛かりに生命の起源とヒトの進化について考えてみたい。

関連サイト:

1.京都民報Web 「横田さんのDNA鑑定は成立していない」

2.新日本出版社・宗川吉汪著書一覧「誕生・性・遺伝子人間とは何か」他